

飽の浦地区ふれあい交流会

去る11月4日(日)、飽浦小学校で第1回目となるふれあい交流会が開催されました。

この交流会は、社協飽の浦支部と飽の浦地区連合自治会が主催し、「支えあうまちづくり」をテーマに世代を超えた地域住民の交流を促進し、地域の活性化を図ることを目的として、今年度より新たに開催されました。

記念すべき第1回目となる今回は、子どもから高齢者まで、約250名もの参加者が集まり、会場の飽浦小学校体育館がいっぱいになりました。

子ども達によるダンスや丸尾中学校吹奏楽部によるアトラクションに、ペタンクやラダーゲッターなど軽スポーツやレクリエーションを楽しんだのち、bingoゲームや抽選会まで行われ盛り沢山の内容でした。笑顔があふれるこの交流会に尽力されたのは、この日の為に7月から話し合いを重ねてきた実行委員会の皆様や当日明るく元気な進行を務めてくれた丸尾中学校の生徒の皆さん方です。皆さんお疲れ様でした。

(竹内 亜梨紗)

長崎さるきダンスパレード
丸尾中学校吹奏楽による
アトラクション♪



紐つきのボールを投げて
ラダー(障)にひっかけます
ラダーゲッター
高得点を狙います!
コツを掴めば大人も子どもも可能です



ダンボールに入ってるよーイドン!



(佐々野 由佳)

伊王島・晴海台・深堀 3地区合同



前半は

各地区の活動報告

みんなで応援し、ゴールの時は全員で喜ぶ姿に仁田南部地区の皆さんのかさと団結を感じた一日となりました。

(末竹 このみ)

10月21日(日)、仁田南部地区では「ふれあい健康まつり」が開催されました。

この行事は20年以上前から行われており、「住民の親睦と子どもの健全育成」を目的に開催されています。今年は約250名が集まり、1歳から80代まで幅広い世代の方が参加されました。

競技は個人戦や自治会対抗があり、誰もが参加しやすく盛り上がるものばかりで、体育館には常に笑い声が響いていました。

また、お菓子などを販売するキッズコーナーや保健師、地域包括支援センターが行う健康チェックコーナーが設置されており、競技だけでなく健康や楽しさを取り入れたブースにも力を入

みました。事故やケガもなく無事に終わることができたのも、ふれあい健康まつり実行委員の方々の綿密な準備があったからだと思います。常に元気に引っ張っていく実行委員の皆さんのお姿は印象的でした。永田委員長は「来年も全員が楽しむことができる行事にしたい」と意気込みました。

みんなで応援し、ゴールの時は全員で喜ぶ姿に仁田南部地区の皆さんのかさと団結を感じた一日となりました。



「輪! 投げ!」

仁田南部地区

ふれあい健康まつり



見守りネットワーク交流会

皆さんの地域では近所の高齢者や気になる方をどのように見守っていますか?

核家族化が進む中、一人暮らしや夫婦のみの高齢者世帯も増えています。病気やトラブルになつてもなかなか声をあげられないまま状況が深刻化することも考えられ、地域の中での見守り体制づくりは今とても重要なになってきています。

この度、市内南部方面で高齢者の見守りネットワークリ活動を行つてある伊王島・晴海台・深堀の3地区合同見守りネットワーク協議会で交流会が行われました。これは、伊王島地区高齢者の見守りネットワーク協議会の声かけで開催が実現し、同じような見守り活動をしていました。

見守りネットワークの体制は地区によつて違えど、『高齢者が地域で安心して暮らせるように』との思いは同じ。見守る側の負担感など課題も多くあがりましたが、「見守りは必ず暮らせるように」との思いが大事」、「見守りは必ず何かをしないといけないわけではなく何もないことが大事」、「見守りは必ず関や地域の方との情報共有が聞かれるなど、活発に意見が交わされていました。



『家から出でこん人の気になる…/あかいと歩ひでんち蹴ひでんちがはなつた/見守っているのは一人だけじゃない!』

後半は

意見交換